

「地域間交流の果たしてきた役割と 多文化共生のこれから」

参加費

無料

京都大学公共政策大学院と全国市町村国際文化研修所 (JIAM) が連携して開催してきた当セミナーも、今年は節目となる15回目を迎えます。

折しも現在、コロナ禍からの脱却が進み、在留外国人数は過去最高を更新、インバウンド観光も再び増加に転ずる一方で、ロシアのウクライナ侵攻により国際情勢も激変しています。地域の国際化は、これからの日本のあり方を考える上でも非常に重要です。今回のセミナーは、地域間交流や多文化共生の今後の役割について、その歴史も振り返りながら改めて俯瞰的に考えることを目的として開催いたします。

開催要領

日程 令和5年9月22日(金) 13:20~17:00 (開場12:50)

【プログラム】

12:50~	開場・受付	14:25~15:10	講演2
13:20~	開会	(15:10~15:20)	休憩
13:30~14:15	講演1	15:20~16:50	パネルディスカッション
(14:15~14:25)	休憩	16:50~17:00	閉会

会場 京都大学 国際科学イノベーション棟西館5階シンポジウムホール
(教室は変更となる場合がございます)
住所: 京都市左京区吉田本町 (吉田キャンパス)

対象 本テーマに関心のある方々

募集人数 100人 (募集人数を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合、期限前に締め切らせていただく場合があります。)

申込期限 令和5年9月13日(水)まで

申込方法 <https://forms.gle/5g1djduqQanUX5Wg9>よりお申し込みください。
こちらのQRコードからもお申し込みいただけます。▶



*QRコードはQRコード
リーダーの登録
商標です。

講演者とパネリスト

「グローバル社会を構想する
～近代日本の経験から～」



京都大学大学院法学研究科
教授
奈良岡 聡智 氏

講演1 / パネリスト

「外国人受け入れと持続可能な地域づくり
～グローバル社会における自治体の役割～」



一般財団法人ダイバーシティ研究所
代表理事
田村 太郎 氏

講演2 / パネリスト 兼 モデレーター

パネルディスカッション
「地域国際化のこれまでとこれから」



公益財団法人箕面市国際交流協会
事務局次長
岩城 あすか 氏

パネリスト



京都府立大学文学部欧米言語文化学科
准教授
山口 エレノア 氏

パネリスト

お問い合わせ

公益財団法人 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 教務部・調査研究部
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13-1 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906
[e-mail] renkei@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

第15回 京都大学公共政策大学院・JIAM連携セミナー

講師紹介

奈良岡 聡智 氏 京都大学大学院法学研究科 教授

青森県青森市生まれ。専攻は、日本政治外交史。主な研究テーマは、大正時代の政党政治、第一次世界大戦期の日本外交など。主著に『加藤高明と政党政治—二大政党制への道』（山川出版社、2006年）、『「八月の砲声」を聞いた日本人—第一次世界大戦と植村尚清「ドイツ幽閉記」』（千倉書房、2013年）、『対華二十一ヶ条要求とは何だったのか—第一次世界大戦と日中対立の原点』（名古屋大学出版会、2016年）、『日本政治外交史』（五百旗頭薫と共著、放送大学教育振興会、2019年）がある。

田村 太郎 氏 一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事

兵庫県伊丹市生まれ。阪神・淡路大震災で被災した外国人への情報提供活動を機に、1995年に設立された「多文化共生センター」で事務局長に就任。同センター代表、一般財団法人自治体国際化協会参事などを経て、2006年より特定非営利活動法人多文化共生センター大阪代表理事。2007年には、「ダイバーシティ研究所」を設立し、企業の社会責任や自治体施策を通して人の多様性への配慮がある地域や社会をめざす活動にも取り組んでいる。東日本大震災直後に内閣官房に発足した「震災ボランティア連携室」では企画官に就任。被災地のニーズ把握や震災ボランティア促進のための施策立案に携わり、現在は復興庁復興推進参与を兼任。

岩城 あすか 氏 公益財団法人箕面市国際交流協会 事務局次長

大阪府池田市生まれ。大阪外国語大学でトルコ語を学んだ後、トルコ共和国イスタンブール大学(院)に留学、1997年～2001年イスタンブールで過ごす。通訳やマスコミのコーディネーターをしながら、1999年におきた「トルコ北西部地震」の復興支援事業にもボランティアとして関わる。現在は、公益財団法人箕面市国際交流協会で地域の国際化を促す様々な事業に取り組む他、重度の身体障害者のみで構成される劇団「態変」の発行する情報誌「イマージュ」の編集にも携わっている。2018年度より朝日新聞のWEB Opiniオン媒体「論座」執筆者（政治・国際分野）、2019年度より一般財団法人自治体国際化協会の多文化共生アドバイザー。

山口 エレノア 氏 京都府立大学文学部欧米言語文化学科 准教授

イギリスウィラル半島生まれ。1999年に英国シェフィールド大学東アジア学部日本語学科を卒業し、2012年には京都大学大学院人間・環境学博士号取得。愛知県立大学外国語学部英米学科准教授を経て、2019年より現職。専攻は、国際京学（国際文化交流）。主な研究テーマは、幕末・明治時代の日英交流史、ジャポニズムと京都発信の文化、芸術、歴史などの世界的影響。幕末時代に英国に旅し、後に第五代京都府知事中山弘と幕末日本に來日したイギリス海軍軍人で日本美術コレクターのフランシス・プリングリーを主に研究している。イギリスと日本の二つの島国の架け橋として役立ちたいという思いから研究を始める。元青森市国際交流員(CIR)。現在は特定非営利活動法人「京都龍馬会」の理事を兼任。

申込方法

1. Googleフォーム（下記URL）よりお申し込みください。
<https://forms.gle/5g1djduqQanUX5Wg9>

下記QRコードからもお申し込みいただけます。



※QRコードはQRコード登録商標です。

2. Googleフォーム以外からのお申し込みは以下のとおりです。
JIAMホームページ (<https://www.jiam.jp>) から申込書をダウンロードし、メールにて申込専用アドレス (renkei@jiam.jp) までお送りください。

※このセミナーは、申込み後、全国市町村国際文化研修所の通常の研修で送付する受講決定通知等を送付しません。

会場

京都大学吉田キャンパス アクセス

※駐車場はございませんので、市バス他、公共交通機関をご利用ください。



※会場へのアクセスの詳細は下記アドレスからご確認ください。
<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r-y/>

- ◎セミナー内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。
- ◎参加者によるセミナーの録音・写真撮影は、ご遠慮ください。
- ◎地球温暖化防止及び省エネルギーに資するため、「ノー上着・ノーネクタイ」などの軽装での参加を奨励しており、スタッフも軽装で執務しております。

第15回 京都大学公共政策大学院・JIAM連携セミナー 参加申込書

所	団体名		
属	部署	(記載例：○○部○○課、○○学部・○年生等)	
参加者	ふりがな	e-mail	
	氏名	電話番号	
上記のとおり、セミナーを申し込みます。			
全国市町村国際文化研修所学長 あて			令和 年 月 日

この申込書でご提供いただいた個人情報は、今回のセミナー実施のために使用します。なお、個人情報を集計して個人を特定できない統計資料を作成するために利用する場合があります。